

「新北海道スタイル」に基づく 地域コミュニティ活動ガイドライン

令和3年11月15日改訂 北広島市 市民環境部

このガイドラインは、国が示した『新しい生活様式』の実践や『新北海道スタイル』の取組を進めながら、新型コロナウイルス感染拡大の予防と地域コミュニティ活動の両立を図るための基本的な考え方を示すとともに、活動の取組例などを紹介するものです。

新型コロナウイルスへの対応において、各種活動を実施する際の参考としてご活用ください。

1. 「新北海道スタイル」について

新型コロナウイルスとの闘いが長期化している中、国が示した『新しい生活様式』の北海道内での実践に向けた、新しいライフスタイルやビジネススタイル、それが『新北海道スタイル』です。

普段から感染拡大を予防していくため、取組をお願いします。

道民の皆様は、**新北海道スタイル**を徹底



※北海道ホームページより引用

2. 地域コミュニティ活動について

(1) 活動の実施にあたって

町内会や自治会等の地域団体による地域コミュニティ活動は、地域住民の親睦・交流や防災防犯、安全安心な環境づくりなど、大変重要な役割を担っています。一方で、地域でのイベントや各種会議など、感染拡大が懸念される活動などについては、引き続き十分な感染防止対策を行う必要があります。

(2) 地域住民への理解

地域での活動を再開・継続するにあたり、十分な検討・対策を行った上で実施したとしても、感染拡大の不安を感じる住民等の皆さんは少なくありません。

「活動の必要性」や「実施する上での感染防止対策」などについて、十分に地域住民の皆さんへ周知し、ご理解とご協力を得た上での活動が望まれています。

3. 活動を行う上での基本的事項

(1) 基本的な感染症対策の実施

① 体調不良の方の活動自粛

- ◇ 事前に検温して、軽い風邪症状(のどの痛みや咳、発熱)がある方や体調がすぐれない方は活動参加を控えましょう。
- ◇ その他、上記の症状が無い方でも、体調等に不安のある方などは、自主的に参加を控えましょう。また代表者は活動が強制とならないよう配慮しましょう。

② 活動中の感染リスクの低減

- ◇ 手洗いや手指の消毒を徹底し、ウイルスを取り込んでしまう可能性を減らしましょう。
- ◇ マスクの着用を徹底しましょう(ただし、熱中症などにも十分に注意してください)。

(2) 「3密」(密集・密接・密閉)の徹底的に回避したうえでの活動

① 密集しない

- ◇ 人がたくさん集まることや、少人数でも近い距離で集まることは避けましょう。

② 密接しない

- ◇ 飛沫を防ぐため互いに手が届く距離で会話や発声、運動などをするのは避けましょう。

③ 密閉しない

- ◇ 屋内では換気を徹底し、窓が無いなど換気ができないような場所での活動は避けましょう。

4. 活動を実施する上での留意点と特に注意する活動

(1) 留意点

① 感染症対策チェックリスト(屋内活動用・屋外活動用)の活用

- ◇ 活動する際の代表者は、活動前に別添の「感染症対策チェックリスト(屋内・屋外活動用)」などを活用して、十分な対応がとられているか対策状況を確認しましょう。

② 参加者名簿の作成と保管

- ◇ 万が一、感染者が発生して追跡調査が必要となったときに活用するため、参加者名簿などを作成して活動日から1か月間程度、保管しましょう。
- ◇ 作成にあたっては、個人情報保護の観点から、本人に同意を得た上で作成し、保管場所にも留意しましょう。

③ イベント等の参加人数上限について

- ◇ イベント等に関しては、参加人数(下枠参照)の上限を守りましょう。

収容率	人数上限
大声なし ⇒ 100%以内	①収容人数1万人超 ⇒ 収容人数の50%以内
大声あり ⇒ 50%以内	②収容人数1万人以下 ⇒ 5,000人以内

※収容率と上限人数のどちらか小さいほうが限度となります。(両方の条件を満たす必要)

※北海道ホームページ「イベント等の開催について」より引用

【関連ホームページ】

詳しくは北海道ホームページ「イベントの開催について」を参照願います。

URL : https://www.pref.hokkaido.lg.jp/covid-19/event_corona_0914.html

※『「新北海道スタイル」に基づく地域コミュニティ活動ガイドライン 別紙資料イベント等の開催制限について』も参照願います。

(2) 特に注意していただきたい活動

複数での飲食や密が避けられないなどの感染リスクの高い下記①～④の活動について、実施する場合は3(1)に挙げた基本的な感染症対策を徹底して実施してください。

なお、実施にあたっては、別添の「感染症対策チェックリスト(屋内・屋外活動用)」での「共通する対策」や「活動ごとの対策」の対策チェック欄などを参考として、感染症の対策を講じた上で実施願います。

また、運動を伴う活動は、人と人が接触しないように特に注意しましょう。

- ① 調理、会食を伴う活動
- ② 密接が避けられない活動（例：囲碁、将棋、麻雀など）
- ③ 専ら運動することを目的とした活動（例：踊り、ダンス、体操、運動など）
- ④ 大きな声を出すことや歌う活動（例：合唱、カラオケ、詩吟、民謡など）

5. 各種活動における具体的な取組事例

これまでの内容を取り入れた、各種活動における具体的な取組事例をお示します。

なお、記載の活動はあくまで一例となりますので、各団体において、活動内容に応じて、適宜、感染拡大防止の対策に努めてください。

項目	主な取組事例
①定期総会等、各種会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 書面開催を検討する。 ◇ 集まる場合は、書面表決や委任の手段を活用し、最小限の人数で開催する。 ※市ホームページに書面表決等による総会の進め方(例)を掲載しています。
②各種会合	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 座席の間隔をできるだけ2メートル以上(最低、1メートル以上)空ける。 ◇ 対面座席は避け、マスク着用や防護シートの設置等により、飛沫感染を防ぐ。 ◇ 会場内での会食等はできるだけ避け、お弁当は持ち帰り等を検討する。 ※実施する場合は短時間で大声を出さず、会話の際はマスクを着用する。 特に大人数の飲食を伴う会食の際は、より一層注意する。
③回覧	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 緊急性等を考慮し、回覧の可否を十分に検討する。 ◇ 各種活動の告知などを回覧により行う場合は、実施にあたっての感染拡大の防止対策を明記し、地域住民の理解を得る。 ◇ 直接の手渡しは避け、郵便受けに入れる。 ◇ 回収後は除菌シートなどで除菌する。
④会費の集金活動	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 実施時期について、緊急性等が無い場合は延期するなど工夫する。 ◇ 月々の集金ではなく、数か月に1度など、可能な限り回数を減らす。 ◇ 会員宅への訪問時にはマスクを着用し、金銭受渡しの前後は手洗いを徹底する。
⑤清掃活動、花壇整備など	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 作業はできるだけ2メートル以上(最低、1メートル以上)離れて行う。 ◇ 複数で行う作業は、マスク、手袋を着用して会話は控え、接触機会を減らす。
⑥地域のまつり	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 調理員は必ずマスク、手袋を着用し、手袋はこまめに交換する。 ◇ 複数で扱う調理器具、食器はこまめに消毒・洗浄する。 ◇ 出店などへの行列で密集が起こらないよう、整理券を配布するなど工夫する。 ◇ 受付表などを設置し、接触確認アプリ(COCoA)等の通知サービスを活用し、可能な限り参加者の把握に努める。 ◇ 会場内に飲食場所を設ける際は、アクリルボードを設置するなど、感染防止を徹底する。
⑦ラジオ体操	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 参加者が2メートル以上(最低、1メートル以上)距離を置くようにする。 ◇ 体操時も原則マスクの着用する(熱中症にも十分注意する)。 ◇ 終了後は、その場に長く留まらないよう、早期解散を促す。

6. その他の参考事項

項目	説明
①参加人数上限の考え方	施設の定員数が不明な場合、4㎡に1人という考え方が理想的な目安です。 例：畳1帖＝1.65㎡として、10帖の場合(10×1.65㎡/4㎡) → 4名
②備品等の使い方	マイク等の設備については、可能な限り、使い回しを避けましょう。 使い回しせざるを得ない場合はマスクを着用するなど工夫して使用しましょう。
③定期的な換気の実施	室内利用の際は、使用開始時と利用中30分ごとに、同時に窓を2箇所開けて室内を十分換気しましょう。
④予防対策などの各種お声かけ	「北海道の感染症防止対策実践店の認証を受けた店舗を利用する」「店舗の利用者名簿の作成に協力する」「使う人ごとにマイクやリモコンを消毒する」など、十分な感染予防対策を講ずるよう、お声掛けをお願いします。

7. 活動中に感染が疑われる方が発生した場合の対応例

万が一、活動中に感染が疑われる方が発生した場合、以下の対応例を参考としてください。

- 代表者は使用施設管理者へ連絡した上で、速やかに別室へ感染が疑われる方の隔離を行う。
- 対応の際は、マスクや手袋の着用など適切な防護対策を講じた上で対応する。
- 代表者は感染が疑われる方に、北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センター(0120-501-507)に相談し、今後の指示を受けるよう伝える。
- 代表者は感染が疑われる方が活動した箇所の換気及び触れた箇所の消毒を行う。
- 代表者は活動の参加者等の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成する。

8. 「北海道スタイル」に沿った活動事例

新型コロナウイルス感染拡大を契機として、人と人との接触を減らし、作業の効率化を図る取組が増えています。今後の活動について検討する際は、以下の事例を参考としてください。

オンライン会議
スマートフォンなどの各種アプリを使ったオンラインでの会議で、役員会や三役会議など少人数での会議で用いられることが多いようです。それぞれが自宅に居ながら会議が行うことができます。
SNS(ソーシャルネットワークサービス)を使った電子回覧
回覧などを行うにあたって、電子メール機能やFacebook、LINEなどを活用した情報発信が行われています。
会費の集金方法
個別に会員宅を訪問して町内会費を集金することは、集金する側もされる側も不安や負担を感じる方がいらっしゃいます。口座振込の導入など人との接触を軽減することもご検討ください。

9. 適用期間(令和3年11月15日更新)

このガイドラインの適用は、令和3年11月15日(月)から当分の間といたします。

新聞・テレビ等の報道に留意しながら、このガイドラインにお示した対策の実施にご協力をお願いいたします。

感染症対策チェックリスト（屋内活動用）

- ◇ 活動する際、代表者は活動前にこのチェックリストを活用して十分な対応がとられているか確認しましょう。
- ◇ 参加者名簿を作成して活動日から1か月程度保管しましょう。作成にあたっては、個人情報保護の観点から、本人に同意を得た上で作成し、保管場所にも留意しましょう。
- ◇ イベント等に関しては、参加人数の上限を守りましょう。

収容率		人数上限
大声での歓声等がないことを前提とするもの	100%以内	5,000人※
大声での歓声等が想定されるもの	50%以内	

※収容人数が1万人を超える場合は収容人数の50%

【共通する対策】

項目	対策チェック欄
活動中の感染リスクの低減	<input type="checkbox"/> 手洗いや手指の消毒の徹底 <input type="checkbox"/> マスクやフェイスシールドの着用を徹底 <input type="checkbox"/> 参加者が共有するものや、口が触れる可能性があるものは消毒する
体調不良の方の活動自粛	<input type="checkbox"/> 事前の検温、軽い風邪症状や体調がすぐれない方の参加を制限
3密の徹底的な回避	<input type="checkbox"/> 対人距離の確保(できるだけ2m以上) <input type="checkbox"/> 大人数での参加を制限 <input type="checkbox"/> イベント開催時における人数制限の順守 <input type="checkbox"/> 会場の換気を行う <input type="checkbox"/> 手の届く距離での会話、発声、運動を避ける
大声を出さないことの担保	<input type="checkbox"/> 大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができる
参加者の把握	<input type="checkbox"/> 参加者名簿の作成 <input type="checkbox"/> 名簿作成について、参加者への同意、利用方法を周知する
広報・周知	<input type="checkbox"/> 感染リスクの低減策や健康管理について、役員や参加者へ周知する
その他	<input type="checkbox"/> こまめな水分補給など、熱中症対策をしっかり行う <input type="checkbox"/> 高齢者や妊婦など重症化リスクの高い方が参加する際は、対策をより徹底 <input type="checkbox"/> 適正なゴミ処理と清掃等を行う方のマスク・手袋着用、作業後の衛生対応 <input type="checkbox"/> 感染が拡大傾向となった場合の、事業の中止や見直し

【活動ごとの対策】（活動内容に応じて共通する対策に加えて実施）

活動内容	対策チェック欄
調理、会食を伴う活動	<input type="checkbox"/> 食器や箸をおくテーブルなど、直接触れる可能性のある場所は消毒する <input type="checkbox"/> 大皿での取り分けは控える <input type="checkbox"/> とり箸やトングの共有は控える <input type="checkbox"/> 大声を出さず、可能な限り少人数、短時間で実施する <input type="checkbox"/> 飲食店を利用する場合は北海道の感染症防止対策実践店の認証を受けた店舗を利用する
運動を伴う活動	<input type="checkbox"/> 呼気が激しくなるような運動は、より一層間隔を空け、運動中の大きな会話や応援は行わない <input type="checkbox"/> 呼気が激しくならない運動では、人と人との間隔を十分空ける
会議、研修など	<input type="checkbox"/> 滞在時間が短くなるよう、工夫する <input type="checkbox"/> 食事はなるべく控え、お弁当など持ち帰りを検討する
交流会、遊戯など	<input type="checkbox"/> 囲碁・将棋・麻雀に使用する用具は、使用前・使用後に消毒する <input type="checkbox"/> 複数での発声や楽器演奏の場合は、十分な間隔を空け、飛沫感染の防止対策を強化する <input type="checkbox"/> 食事はなるべく控え、お弁当など持ち帰りを検討する

※該当する活動がない場合は、類似の活動を参考に対策をお願いいたします。

感染症対策チェックリスト（屋外活動用）

- ◇ 活動する際、代表者は活動前にこのチェックリストを活用して十分な対応がとられているか確認しましょう。
- ◇ 参加者名簿を作成して活動日から1か月程度保管しましょう。作成にあたっては、個人情報保護の観点から、本人に同意を得た上で作成し、保管場所にも留意しましょう。
- ◇ イベント等に関しては、参加人数の上限を守りましょう。

収容率		人数上限
大声での歓声等がないことを前提とするもの	100%以内	5,000人※
大声での歓声等が想定されるもの	50%以内	

※収容人数が1万人を超える場合は収容人数の50%

【共通する対策】

項目	対策チェック欄
活動中の感染リスクの低減	<input type="checkbox"/> 手洗いや手指の消毒の徹底 <input type="checkbox"/> マスクやフェイスシールドの着用を徹底 <input type="checkbox"/> 参加者が共有するものや、口が触れる可能性があるものは消毒する
体調不良の方の活動自粛	<input type="checkbox"/> 事前の検温、軽い風邪症状や体調がすぐれない方の参加を制限
3密の徹底的な回避	<input type="checkbox"/> 対人距離の確保(できるだけ2m以上) <input type="checkbox"/> 大人数での参加を制限 <input type="checkbox"/> イベント開催時における人数制限の順守 <input type="checkbox"/> 会場の換気を行う <input type="checkbox"/> 手の届く距離での会話、発声、運動を避ける
大声を出さないことの担保	<input type="checkbox"/> 大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができる
参加者の把握	<input type="checkbox"/> 参加者名簿の作成 <input type="checkbox"/> 名簿作成について、参加者への同意、利用方法を周知する
広報・周知	<input type="checkbox"/> 感染リスクの低減策や健康管理について、役員や参加者へ周知する
その他	<input type="checkbox"/> こまめな水分補給など、熱中症対策をしっかり行う <input type="checkbox"/> 高齢者や妊婦など重症化リスクの高い方が参加する際は、対策をより徹底 <input type="checkbox"/> 適正なゴミ処理と清掃等を行う方のマスク・手袋着用、作業後の衛生対応 <input type="checkbox"/> 感染が拡大傾向となった場合の、事業の中止や見直し

【活動ごとの対策】（活動内容に応じて共通する対策に加えて実施）

活動内容	対策チェック欄
調理、会食を伴う活動 夏祭り など	<input type="checkbox"/> 座席の間隔を十分に空ける <input type="checkbox"/> 大皿での取り分けは控える <input type="checkbox"/> 複数で扱う調理器具、食器はこまめに消毒・洗浄する <input type="checkbox"/> 調理員は必ずマスク、手袋を着用し、手袋はこまめに交換する <input type="checkbox"/> 出店などの行列対策として整理券を配布するなどの工夫を行う <input type="checkbox"/> 飲食場所を設ける際は、アクリルボードを設置するなど、感染防止対策を徹底する。
運動を伴う活動 運動会、パークゴルフ大会 など	<input type="checkbox"/> こまめに手を洗う <input type="checkbox"/> 近距離となったり、接触するような活動は控える <input type="checkbox"/> 更衣室・観客席・待機場所は換気を行う <input type="checkbox"/> 食事はなるべく控え、お弁当など持ち帰りを検討する
環境美化活動 清掃、花植え、除雪 など	<input type="checkbox"/> 複数で行う作業は、マスク、手袋を着用し、会話は控え、接触機会を減らす
その他 防災訓練 など	<input type="checkbox"/> 参加者が共有するものや、口が触れる可能性があるものは消毒する <input type="checkbox"/> 炊き出し訓練の際は、調理、会食を伴う活動と同様の対策をとる

※該当する活動がない場合は、類似の活動を参考に対策をお願いいたします。

参 加 者 名 簿

活動年月日・時間	令和 年 月 日 () : ~ :		
行 事 名			
団 体 名	団体等の名称		
	代表者氏名・連絡先	☎	

【参加者の皆さまへ】

この参加者名簿は、感染者が出た際に保健所に連絡できるようにするため作成しています。

活動後2週間以内に、新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、必ず団体代表者までご連絡ください。

なお、この個人情報については、上記の目的又は法令等に定める一定の場合を除き、皆様の同意を得ずに第三者への提供・開示はいたしません。ご記入のご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

No.	氏 名	連絡先☎	備考
例	北広島 三郎	090-0000-0000	子供2人と参加
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			